

株主の皆様へ

第28期報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

Business Report

KYORITSU
共立印刷株式会社



証券コード：7838



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当社グループの第28期報告書をお届けするにあたりまして、日頃のご支援とご厚情に心から感謝申し上げますとともに、当社グループの概況につきましてご報告申し上げます。

営業の概況につきましては、別掲のとおりでございますが、当連結会計年度の業績は、売上高363億7千8百万円（前期比5.5%増加）、営業利益20億8千5百万円（前期比24.9%減少）、経常利益18億2千8百万円（前期比26.2%減少）、当期純利益10億2千9百万円（前期比27.9%減少）となり、売上高は前期を上回りましたものの、厳しい業界環境や原材料高騰の影響を受け利益面においては、所期の見通しを下回る結果となりました。

当社グループは、生産性向上のため、継続的な設備の増強を行っております。当期におきましては、B判の高速オフセット輪転機を4台増設するとともにドイツ製の高速製本機1台を新たに導入し、チラシなどの商業印刷分野への対応力の強化と製本速度の向上を図りました。

一方、設備投資を支える資金調達に関しましては、第三者割当増資を行い、設備投資資金を調達するとともに自己

資本の充実を図りました。

また、内部統制システム構築につきましても、順調に準備が整い、東証一部上場企業としてふさわしい誠実な経営を実践してまいる所存でございます。

なお、期末配当金につきましては、1株あたり7円とさせていただきます。

次期（平成21年3月期）の連結業績につきましては、売上高380億円、営業利益22億円、経常利益19億4千万円、当期純利益10億8千万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

代表取締役社長

野田勝憲



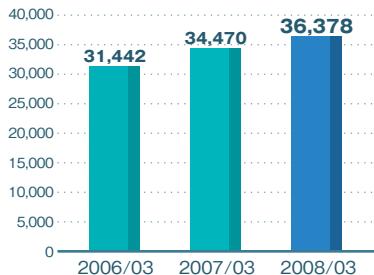
CONTENTS

株主の皆様へ	1	環境への取り組み	6
連結業績ハイライト／トピックス	2	連結財務諸表	7
営業の概況	3	グループの体制	9
設備の概要	5	会社概要／株式の状況	10

連結業績ハイライト

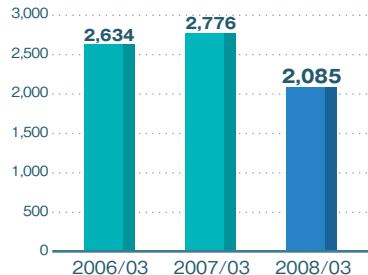
売上高

(百万円)



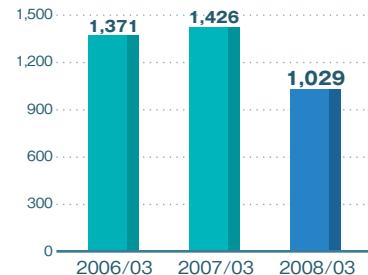
営業利益

(百万円)



当期純利益

(百万円)



TOPICS



平成19年7月に、本庄第2工場を増築いたしました。増築部分に次世代の印刷、製本加工を担う新鋭機を投入いたしました。

オフセット輪転機



日判の高速オフセット輪転機を4台増設し、チラシやフリーペーパー等の印刷物の内製化を推進しております。

コルプス製本機



毎時1万5千冊の高速製本を行う、ドイツ製の無線綴製本機を設置し、印刷と製本の連携体制を強化いたします。

ラッピング機



ラッピング機を設置し、複数の印刷物をまとめて、郵送用にビニール封入する新しいサービスを開始いたしました。

営業の概況

当期の概況

当連結会計年度における我が国経済は、サプライム問題が一方向に沈静化しないことから、米国景気の後退傾向が鮮明となったことに円高、株安、原材料高といった懸念材料も加わり停滞感が強まっており、企業全体の減速感が否めず、個人消費にも影響を及ぼしております。

当社グループの属する印刷業界におきましては、用紙等の値上げによるコスト増の顧客転嫁が必ずしも順調に進捗していないことに加えて、印刷単価の引き下げが依然として継続しており、一段と厳しい経営環境となっております。

当社グループにおきましては、上半期においては、様々な施策を講じたものの、主に印刷単価引き下げの影響を受け、業績は計画を下回ることになりました。しかしな

がら、下半期におきましては、計画生産を強化し、物流コストが改善したことに加えて、材料の効率的使用などを実施したことから、収益低下要因の影響を最小限に抑え、利益率につきましては、改善傾向で推移いたしました。更に第4四半期には、ドイツ製の高速製本機及びB版高速オフセット輪転機1台を新規に稼働させるなど、設備の更なる増強を図り、また生産要員の技能向上に注力したことにより、生産性と品質が向上し収益力が改善いたしました。

これらの結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高363億7千8百万円（前期比5.5%増加）、営業利益20億8千5百万円（前期比24.9%減少）、経常利益18億2千8百万円（前期比26.2%減少）、当期純利益10億2千9百万円（前期比27.9%減少）となりました。



商業印刷

チラシ／通販カタログ／商品カタログ／各種パンフレット
機器取扱説明書／POP／店舗装飾品

■当社設備とのマッチング

BT輪転機 15台：折込チラシ・タブロイド紙などB判の印刷物

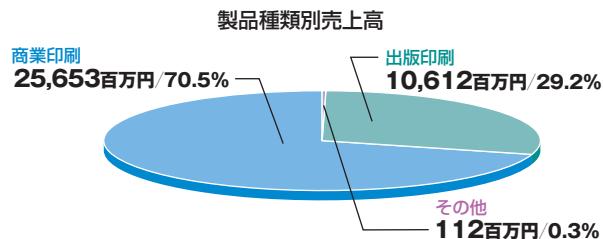
AY輪転機 16台：通販カタログなどA4判の印刷物

BY輪転機 2台：取扱説明書などB6判の印刷物

製品種類別概況

商業印刷

商業印刷につきましては、個人消費の減速感や各産業における厳しい競争の中での顧客からの単価引き下げ要請などが続く中で、流通関係のチラシ等が前期を上回ったことなどにより、売上高は20億4千3百万円増加し、256億5千3百万円（前期比8.7%増加）となりました。



出版印刷

出版印刷につきましては、雑誌業界に停滞感が広がる中で、情報誌等のフリーペーパー化が増加したことにより、売上高は1億6千3百万円減少し、106億1千2百万円（前期比1.5%減少）となりました。

その他

その他売上の主なものは、不動産賃貸料であり、本社賃借ビルの一部フロアの転貸の増加により、売上高が2千8百万円増加し、1億1千2百万円（前期比33.9%増加）となりました。

出版印刷

書籍／雑誌／地図／定期刊行物／教科書
情報誌／フリーペーパー

■当社設備とのマッチング

- AY輪転機 16台：月刊雑誌などA4判の印刷物
- AT輪転機 2台：ゲーム攻略本・地図などA5判の印刷物
- BT輪転機 15台：情報誌・フリーペーパーなどA4判の印刷物
- 無線綴機5ライン：定期刊行物などメルトでの製本
- 中綴機15ライン：フリーペーパーなどステッチでの製本

設備の概要

共立印刷グループは、大容量の印刷に対応できる大規模な印刷・製本工場を、埼玉県本庄市に集約しています。印刷工程のロボット化、製本工場との連結、さらに本庄児玉インターチェンジ隣接という立地に加え、東京の本社や各

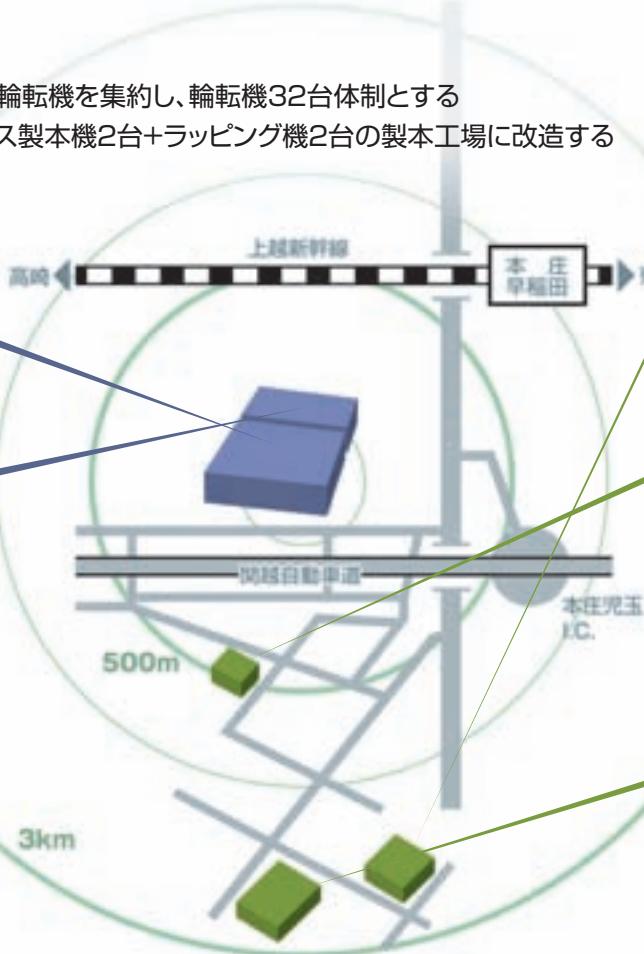
営業所からのデジタル入稿など工程のデジタル化により、速いスピードと最適なコスト、高品質を実現。また、クーポンチラシにミシン目を施すパーフォレーターを始め様々な特殊加工設備を整え、多品種印刷の要望に応えます。

工場再編計画

- 本庄工場に、全ての輪転機を集約し、輪転機32台体制とする
- 児玉工場を、コルプス製本機2台+ラッピング機2台の製本工場に改造する



本庄第1・第2工場
面積:30,397坪
輪転機:32台



製本第1工場
面積:2,933坪
中綴:10ライン
無線:4ライン



製本第2工場
面積:1,613坪
中綴:10ライン



児玉工場
面積:4,243坪
無線:2ライン
ラッピング機:2ライン

印刷工場 30,397坪 高速大型輪転機32台 + 製本工場 8,789坪 中綴20ライン/無線6ライン
ラッピング機2ライン

環境への取り組み

本庄第1・第2工場、児玉工場は、環境配慮型工場として、環境にやさしい製品づくりのできる設備を整備しております。平成20年からは、本庄第1・第2工場におけるISO14001の取り組みと連動し、全社をあげて、電力・

ガス・用紙等資源の使用量低減、廃棄物の排出量低減、さらに物流の効率化による排気ガス削減に取り組み、地球温暖化防止に貢献してまいります。また、より豊かな環境づくりを目指し、工場の緑化計画を進めております。

3Rへの取り組み

Recycle [リサイクル]



- 再生紙製造への対応
- 回収した版のアルミ製品化

Reuse [リユース]



- 詰替式インキタンクの利用
- 古インキの再生
- 洗浄布再生

Reduce [リデュース]



- 電気、ガス、水の使用量低減
- 紙、インキの使用量低減
- 廃液の排出量低減

「CO₂削減プロジェクト」を始動

京都議定書において、日本は、平成24年までに平成2年に比べ、温室効果ガスを6%削減することが求められております。CO₂の削減を始めとした、環境対策の徹底が企業としての社会的責任と自覚し、全社的にプロジェクトに取り組んでまいります。施策といたしましては、本庄第1・第2工場におけるISO14001基準の継続遵守、冷暖房温度の適切な設定、工場の緑化、社員教育の実施、家庭における環境対策の支援等を計画しております。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第28期(当期)	第27期(前期)
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	13,756	13,767
現金及び預金	5,555	5,214
受取手形及び売掛金	6,713	7,375
たな卸資産	738	578
繰延税金資産	139	145
その他	613	459
貸倒引当金	△ 3	△ 5
固定資産	16,393	15,785
有形固定資産	14,468	13,893
建物及び構築物	6,185	5,178
機械装置及び運搬具	3,010	3,288
工具器具備品	103	113
土地	5,168	5,126
建設仮勘定	—	186
無形固定資産	77	116
投資その他の資産	1,846	1,774
投資有価証券	759	757
長期貸付金	0	1
繰延税金資産	264	155
保険積立金	593	593
その他	240	299
貸倒引当金	△ 12	△ 32
資産合計	30,150	29,552

科 目	第28期(当期)	第27期(前期)
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	14,221	13,692
支払手形及び買掛金	8,983	8,260
短期借入金	150	150
一年以内返済予定長期借入金	2,736	2,650
一年以内償還予定社債	370	460
未払法人税等	450	577
賞与引当金	201	185
その他	1,329	1,408
固定負債	5,698	7,490
社債	—	370
長期借入金	4,928	6,122
退職給付引当金	507	488
長期未払金	78	267
その他	183	241
負債合計	19,920	21,182
(純資産の部)		
株主資本	10,147	8,245
資本金	2,511	1,776
資本剰余金	2,505	1,770
利益剰余金	5,130	4,698
評価・換算差額等	82	124
その他有価証券評価差額金	82	124
純資産合計	10,229	8,369
負債純資産合計	30,150	29,552

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第28期(当期)	第27期(前期)
	自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日
売上高	36,378	34,470
売上原価	31,184	28,341
売上総利益	5,194	6,128
販売費及び一般管理費	3,108	3,352
営業利益	2,085	2,776
営業外収益	35	31
営業外費用	292	330
経常利益	1,828	2,477
特別利益	22	8
特別損失	134	50
税金等調整前当期純利益	1,716	2,435
法人税、住民税及び事業税	761	1,029
法人税等調整額	△ 74	△ 21
当期純利益	1,029	1,426

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第28期(当期)	第27期(前期)
	自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,063	2,657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 945	△ 1,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,142	△ 2,893
現金及び現金同等物の増減額	974	△ 1,278
現金及び現金同等物の期首残高	4,580	5,859
現金及び現金同等物の期末残高	5,555	4,580

(減少：△)

連結株主資本等変動計算書

(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成19年3月31日残高	1,776	1,770	4,698	8,245	124	8,369
連結会計年度中の変動額						
新株の発行	734	734		1,469		1,469
剰余金の配当			△ 596	△ 596		△ 596
当期純利益			1,029	1,029		1,029
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					△ 41	△ 41
連結会計年度中の変動額合計	734	734	432	1,901	△ 41	1,860
平成20年3月31日残高	2,511	2,505	5,130	10,147	82	10,229

グループの体制



共立印刷(株)

印刷・製本・ラッピング



(株)インフォビジョン

デザイン・DTP

(株)ケーアンドエムプロセス

不動産賃貸

共立グループでは印刷物のデザイン・DTPから印刷、製本まで一貫体制で事業を展開しております。

営業本部

プランニング



「顧客第一主義」をモットーに、提案型営業を展開しております。営業と製造とが部門の壁を取り払い、全社的によりよいサービスを提供する体制を構築しています。

(株)インフォビジョン

デザイン・DTP



最新鋭工場の生産スピードに合わせ、プリプレス工程をデジタル化いたしました。劣化の少ない優れた品質再現を追求するとともに、作業効率の向上、コスト低減を実現しています。

印刷工場

印刷



高速の両面同時印刷、折り機のインライン化等、輪転機のメリットを最大限に生かしながら、個々の機械に特化した機能を付加し、印刷の新たな可能性を追求してまいります。

製本工場

製本



隣接する印刷工場で刷り上がった印刷物を、用途に応じて中綴じ、無線綴じで製本しています。集約された工場での、印刷と製本の連携が、共立印刷の生産の核となっております。

ラッピング



通販の需要に応え、印刷物郵送用のビニール封入加工を行います。関東唯一となる「印刷・製本・ラッピング」の集結工場で、従来の各工場間の転送を省き、CO₂削減にも貢献いたします。

会社概要

平成20年3月31日現在

会社概要

本社所在地	東京都板橋区清水町36番1号
設立年月日	1980年8月1日
資本金	25億1,135万円
従業員数	529名
工場	<ul style="list-style-type: none"> ■本庄工場（本庄第1工場、本庄第2工場） 埼玉県本庄市いまい台1丁目32 ■児玉工場 埼玉県児玉郡上里町嘉美字立野南1424-1 ■製本第1工場 埼玉県児玉郡上里町嘉美字立野南1600-13 ■製本第2工場 埼玉県本庄市いまい台2丁目74
営業所	札幌／名古屋／大阪／高松
子会社	(株)インフォビジョン (株)ケーアンドエムプロセス

役員構成

平成20年6月27日現在

代表取締役社長	野田 勝憲	
取締役副社長	倉持 孝	営業統括・生産統括
常務取締役	木村 純	管理統括
常勤監査役	反怖 紀久	
監査役	秋沢 志篤	ヒーローズエデュテイメント(株) 代表取締役会長
監査役	窪川 秀一	公認会計士・税理士
執行役員	船木 敏勝	工場管理本部長
執行役員	平川 清三	第1営業本部長
執行役員	狩野 博紀	第2営業本部長
執行役員	磯本 隆	生産管理本部長
執行役員	川瀬 佳介	製造本部長

株式の状況

平成20年3月31日現在

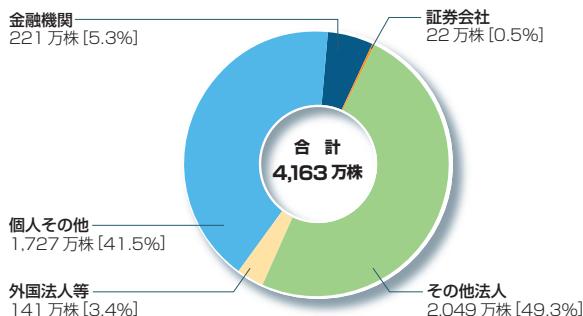
株式の状況

発行可能株式総数	130,720,000株
発行済株式総数	41,630,000株
株主数	3,670名

大株主

株主名	持株数 (万株)	持株比率 (%)
野田 勝憲	741	17.8
(有)ウエル	658	15.8
東京インキ(株)	219	5.3
(株)小森コーポレーション	203	4.9
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリ ノーザントラストガンジーノントリーティークライアッツ	127	3.1
(株)ペルーナ	100	2.4
(株)プロトコーポレーション	100	2.4
井奥 貞雄	99	2.4
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	80	1.9
東京紙パルプ交易(株)	69	1.7

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
	(中間配当を実施する場合)	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社	
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) TEL.0120-78-2031 (フリーダイヤル)	
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店	
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.kyoritsu-printing.co.jp/	
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部	

ウェブサイトのご案内

IR情報をはじめ、
各種情報を発信しています。



<http://www.kyoritsu-printing.co.jp/>

KYORITSU
共立印刷株式会社

〒174-8860 東京都板橋区清水町36番1号
TEL.03-5248-7801(管理本部)